拓水

題字は　県漁連三浦会長

7月号
No. 118

発行所
兵庫県漁業協同組合連合会
兵庫県水産業改良普及協会
神戸市兵庫区新在家町123
発行人　三浦清太郎
TEL (67) 6301・668
編集　拓水編集委員会
発行日　毎月30日
一部10円
昭和32年10月18日
第3種郵便物認可

「出光問題対策協議会」開催

六月二十四日午前十時より、神戸市生田区の繊維会館に於て、兵庫県漁連主催のもとに、出光興産姫路製油所の建設中止問題について、関係漁業協同組合（播磨地区）より組合長、役員並びに漁民代表約一五〇名を招き、協議会を開催し、塩崎県漁連会長代理（副会長）を座長に推し、関係漁民の生の声を聞くとともに、県から細井農林部長、竹之内企画部参事、森木水産課長のご出席を願い、県の説明を聴取し、質疑応答がおこなわれ充分協議検討した。

（塩崎副会長あいさつ）

六月二十二日の播磨関係漁協組合長会議で農林部長のご説明を聞いておわかりになった方もありますが、周知徹底するためと、漁民の生の声をきき、県当局の責任ある答弁を求めるため、本日の会を開催いたしました。

このような問題は漁民以外の人達に牛じられて、それにセンドウされてやるようなことではつまりません。

「漁師は漁師」で話し合うべきです。あく迄漁民は一致団結しなければ、こんな問題は解決出来ません。

興奮して暴力行為に出るようなことは厳にいましむべきであります。吾々の運動は秩序をたて、合法的に最善の努力をつくすということであるならば、私も諸君と共に、第一線に於て自分の最善をつくしましょう。

（農林部長の経過説明内容）

シーバースの設置により、これによる、油の被害が有るか、無いか、学術調査の結果を見なければ、今即答は出来ませんが、当初より過失云々ということを条件に頭からキメつけることは如何に無理なことでありましょう。このために法律があり、条例があり損害賠償の条項があるのです。

いずれにいたしましても、学術調査の結果を待っていただき、実害明らかなりといたしますれば、農林部長が先頭にたって反対をいたしますから、ご信頼をいただきたい。

又、シーバースの問題につきましては、油が漏れぬかも知れぬが、約五万坪の海域を独占するではないかと、〃これは当然であります。この場合は許可漁業の区域を放棄しなければならないので補償の問題がおこります。

漁師が世の中から孤独になったりしないように、このこと丈けは今後の行政をあずかる私といたしましては、特に心配でこの点、この上とも理性あるご判断を賜りたいということが私の願いでございます。

自主的に充分ご協議いただきたい。

漁民代表（質問）

① 公害について、審議会の調査結果が出る迄待とうと言われたが、これ迄にもっと漁民にも重きをおいて、納得の行く説明がほしかった。

② 三十六年の補償は埋立補償であって、公害や工場汚水の補償ではなかった。

③ 一度根をおろした企業は、吾々漁民の如きには何も考えてくれない過去の実績があるのです。バクテリヤ分解重油脱硫装置という有効な装置を取付けるのならば、なぜ既存の出光系統の工場で効力の実証をしないのか。

④ 学術調査の結果「公害なし」と結論が出て、その後公害が生じた場合には部長として、どのような責任をとられますか。

⑤ 「出光」再誘致に対しては、何故漁民に害あり、否かの資料の提供と相談がないのか。

農林部長

○公害審議会のデーターも出来るだけ早く作っていただき、ご相談したいと思っております。

○重油脱硫装置を徳山に設置して効力の実証云々は出光の社内事情のことであって、私がとやかく云うものではありません。

○学術調査の予見にあやまりがあったことに関連した公害ならば、その時に補償措置を講じたいと思います。

○学術調査の結果が判明したならば、早速漁民の皆様方に報告し、充分協議いたしたいと思っております。

その後作花氏（但馬漁連専務理事）より

「家島、坊勢両代表者がわざわざ出席されておりながら、相談役と称する方の発言によって退場されたことは、まことに残念に思います。学術調査の結果が出るまで今暫く静観することが漁民としてとるべき態度ではなかろうか。」ということを提案された。

なお座長より、

本日の会合を将来意義あらしめるため、今後事業を行なう場合においては、事前に充分漁民を納得させて事を進めてもらいたい意味の決議をいたしたいと提案あり、県漁連主催の協議会をとじた。暫時休憩の後播磨漁友会出光問題対策実行委員会の協議会に移り、左記決議文を万場一致で可決承認し本協議会を終了した。

決議文

このたび出光興産株式会社姫路製油所建設計画について、県当局におかれては積極的にその実現を図ろうとしており、又从聞する所によると同施設から生ずると思われる公害について、県は公害審議会に専門委員を設置し学術的にこれを究明しようとしておられるが、我々漁民はこの公害をおそれ今迄再三にわたり反対陳情を続けて来たものである。

よって今後同審議会の結論並びにそれにもとづく方針の樹立に当っては、我々漁民に周知せしめ漁民の納得の上に立ってことを進められたい。

右決議す。

昭和四十一年六月二十四日

播磨漁友会出光問題対策実行委員会

チョコー推進優績者大会について

全水共では従来から実施してきた普通厚生共済（甲組、乙組、親子厚生共済）の内容を改めて、一昨年から新規に貯蓄型厚生共済（チョコー）を設けてこれの普及を計っています。「補償しながら、貯蓄する」この二つの働きをかねそなえたのが、このチョコーで、老後の生活資金、子供の教育資金、結婚資金、様々の事業資金など漁村の生活設計にまさにぴったりの厚生共済として大変好評で、加入実績も飛躍的に伸びています。そこで全水共は、昨年度中におけるチョコーの加入成績の優良な漁協二百組合を招待して、去る六月十日、十一日の二日間東京平河町の全共連ビル四階大会議室、同六階マツヤサロンにおいて、全水共主催による「チョコー推進優績者全国大会」が盛大に挙行されました。当日は全国から選ばれた漁協の役職員に全水共職員を加えて、二百五十名の者が終始熱心に、体験発表や講演をきくなど、全水共初の大会にふさわしい有意義な二日間でありました。

本県からは次の九漁協が優績漁協として選ばれ、この大会に出席参加された。

中でも伊保漁協は、正組合員一人あたりの加入額が、全国で第四位という立派な成績を挙げられるなど、それぞれ日頃のご熱心ご努力のほどをあらわされました。

伊保漁協　香住町漁協
丸山漁協　余部　漁協
沼島漁協　諸寄　漁協
津居山港漁協　居組漁協
柴山港漁協　以上九組合

何分始めての大会でありまた今後毎年行なわれる予定であるので、大会の模様のあらましをご披露しますと、

第一日

大会は、全水共三木常務の挨拶に始まって、つぎの優績漁協代表の推進体験発表が行なわれた。

石川県	姫　漁協	
岩手県	重　茂　漁協	
北海道	鹿　部　漁協	
宮崎県	島　浦　漁協	
三重県	錦　漁協	
愛媛県	宇和島　漁協	
北海道	全水共事務所	

この発表は、四十年度における輝やかしい契約挙績の蔭には、必ず推進者の地道な、そして血のでるような努力がかくされていることチョコーの推進にあたっての方法、心構え、数々の苦心談などが公開された。

続いて次の講師による有益な講演が約三時間行なわれた。

角　玄氏　全共連教育研究所長

野村泰治氏　NHKチーフアナウンサー

会を終って夜は、マツヤサロンで盛んなパーティ、各県入りまじっての歓談が九時ごろまで交わされた。

第二日

まず三浦全水共会長の挨拶に始まって、丹羽水産庁長官、片柳全漁連会長、安藤漁済連会長の来賓祝辞が述べられ、引き続いて特に優績漁協として選ばれた十二の組合が次のとおりそれぞれ表彰された。

全漁連会長表彰

北海道	函舞漁業協同組合	
石川県	姫　〃	
北海道	根室　〃	
〃	鹿　部　〃	
〃	岐　〃	
〃	牟　〃	

全水共会長表彰

北海道	標津漁業協同組合	
〃	別　海　〃	
島根県	御　津　〃	
兵庫県	伊　保　〃	
鳥取県	網代港　〃	
〃	〃	
〃	〃	
〃

マダイの種苗生産
―伯方島事業場から―

瀬戸内海栽培漁業協会伯方島事業場（愛媛県）で特別研修（実技研修）に参加、ここでの種苗生産、特にマダイの種苗生産について、簡単に紹介します。

今ここで種苗生産されているものは、マダイ仔魚百万尾、カサゴ稚魚一万尾、ウマズラハギ仔魚五万尾、トラフグ稚魚五千尾、ガザミゾエア四百万尾、サヨリ稚魚八百万尾、その他が飼育されている。

マダイの産卵は毎年八十八夜の声を聞くと始まるといわれるが、ここ伯方島周辺では「除虫菊の花が白く咲き始め、麦の穂が立つ」という、立春から数えて九十五～百日頃から百十五～百二十日頃までが産卵期で産卵初期には八才以上の高年令魚が産卵し、盛期には五～八才の適令親魚、末期には三～四才の若年親魚が主体となって漁獲される。

産卵期は非常に短かく、普通一週間程度である。この産卵ピークに、その地点を回遊する産卵群は、その時の気象（特に風の方向、強さ）海況（特に水温）によって、群の移動と産卵の遅速と長短が考えられる。

今年五月十四日から十八日までは比較的安定したよい気象状況であったが、十九日からの天気がくづれ、二十日、二十一日の北東の強い風雨のため海況が一変したため十四日から十八日までが産卵のピークであった。

このようにわづかな産卵期をとらえて採卵し、ふ化しようとするマダイの種苗生産は、採卵に最大の労力を掛け、良い卵の獲保をはかることが、まず第一に重要なことで、五月十四日から二十六日までの十日あまりの間に、桝網班、吾智班に分れ、採卵したが、約二百万粒にとどまった。この内、末受精卵ふ化までに死んだ卵があって、ふ化した仔魚は約五十％程度のふ化率であった。

マダイの卵は浮性で、卵径一、一～一、二ミリ、中リ）が一個ある。受精後ふ化までは水温十五～十六度で約五十時間を要し、ふ化した仔魚は腹面を上にして静止、一日経過すると、倒立ないし半倒立して懸垂し沈み急に動いて浮上すると再び沈む運動をくりかえし、腹部のヨーク（卵黄）を吸収しながら体位をととのえ生長し、ふ化後三日（水温十八度）位いで遊泳能力をそなえる。ヨークが吸収され終る頃（ふ化後三～四日）口が開き、食べ物をとるようになる。

仔魚に与える好適餌料はまだ決定されていないが、ここでは、ふ化後三日目からカキの受精卵、トロコホーラ（胆輪子）を与え、五日目頃から輪虫（シオミヅボワムシ）と天然のプランクトン（主にコペポーダ）、七日目頃からアルテミアのノープリウス（ブラインシュリンプ）を与え、ふ化後二十～二十二日目頃稚魚期になると流水槽で、いかなご、いわし等の練餌を与える。

ふ化直後の稚仔の全長は二、五～二、七ミリ、七日後で四～五ミリ、十四日後で六～七ミリ二十一日後で八～十五ミリに生長する。

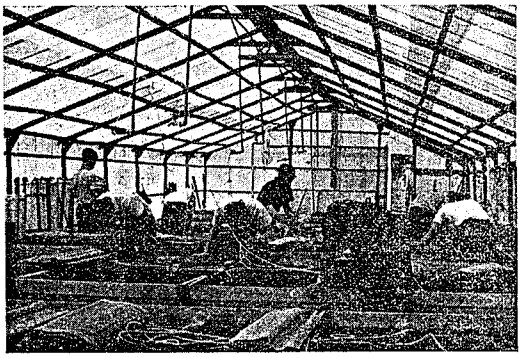
採卵した卵は、採卵後十分以内に受精させないと受精率が悪く、受精卵は流水ふ化槽でふ化させ、ふ化後一日以内に〇、五トンタンク（アクリル塗料スレート製）に緑色色素を持つ微生物（特にモナス、クロレラ）を入れた、いわゆるグリンウォータ止水海水で飼育する。飼育タンクの掃除は、ふ化後五～六日頃から、毎朝サイホンによってタンクの底に沈澱した生物の死骸悪水等を除去すると共に、高塩になったタンクについては、水を抜き、淡水と海水を混合して塩素量十七、八〇％（比重一、〇二三八）位いにグリンウォータをコントロールすると共に、日射の強い時は簾をかけて暗くして、ガスの発生を防ぐ作業をする。

こうした飼育槽の管理作業と魚体の生長にともなう投餌の問題が仔魚飼育の最重要なポイントで、カキワムシ、プランクトン、ブライン等の餌料作りが確実に行なわれなければならない魚体に適した餌料が不足すると、ふ化後十五～十六日頃から友喰い状態となる。飼育水に対する充分な観察をしなければ病気で全滅することもある。飼育中最も注意しなければならないのは、前記の友喰いと、ガス病、膀胱結石である。ガス病は一般に言はれている魚体の体表面や血管内、或は鰓のフィラメント等にガスが気泡状となって付着したり、つまったものではなく、消化管内特に胃の中に一個ないし数個の気泡があり、その浮力のため仔魚が平衡を失い、腹面を上にして浮上し、体の一部が乾燥して死亡する状態のものでこの現象は飼育水中の酸素が過飽和であるというよりは、飼育水槽の側面や底面に着生した硅藻が直射日光によって活発な同化作用のため生成されたガス気泡を飲みこんだものと思われる。この状態になった飼育槽の仔魚は短時間の間に殆んど死亡するため、午前中の飼育水の管理と午後の飼育水の観察によってガス病（吾々は仮称ガス病という）発見の機をいち早くとらえ、飼育水をコントロールしたり遮光によりガスの発生を防ぐ。又膀胱結石はその発現の原因とその対策がはっきりつかめていないが、種々の飼育水、飼育槽でのもとでも結石が発現するが、飼育水の塩素量が高い場合、発現率が若干多く、塩素量が十七、五％付近が発現が少ないことから塩素量に細かな神経を使っている。この結石は仔魚の膀胱内に、透明と赤色の二種の大きな結石、或は数個の結石ができ、膀胱が異状に大きくなって排泄されずに死んで行くものである。

この他マダイ仔魚期から稚魚期の疾病には、奇形、外傷、うつ血、等があって未解決の事項ばかりであるが昨年頃から広大村上教室その他の研究室でわづかながら種苗化され始めた。

最後に。伯方事業場のマダイ種苗生産計画は本年度放流種苗一万尾の計画で、現在約三万尾の稚魚（体長十～十五ミリ）が流水槽で練餌によって飼育している上に稚仔期のものが約四万尾位い飼育されている。当初の計画量を軽く越えることが期待され意を強くして研修に励んでいる次第で、種苗生産されたマダイが放流される日もやがてそこにきているのではないだろうか。

六月十一日　陰
伯方島にて　高橋



Ⅰ　マダイ飼育水槽の管理　ビニール温室　Ⅰ号舎

6～7月の漁海況

①　海　況

6月上旬の大阪湾および播磨灘における水温は 16～19°Cで，両海域とも前報の予測より0.5°C内外低目を示している。これは5月中の降雨量が例年の 1.6倍で，快晴の日が少なかったと黒潮分枝流の大阪湾への影響が弱かったことなどによっている。一方，両海域の塩素量は前月より更に低めとなって，大阪湾の北東域では底層（10～15m）まで低鹹水（17.00‰以下）におおわれている。

このように，6月上旬までの両海域における海況は，全般的に外洋の海況とかなり顕著な差があったために，回遊性魚種の来遊は昨年程ではないが，約半月内外おくれた。しかし6月中～下旬以降は，外海との水温差はほとんどなくなるので，カタクチイワシ，アジ，サバ，イボダイなどの来遊増加が期待される。

②　漁　況

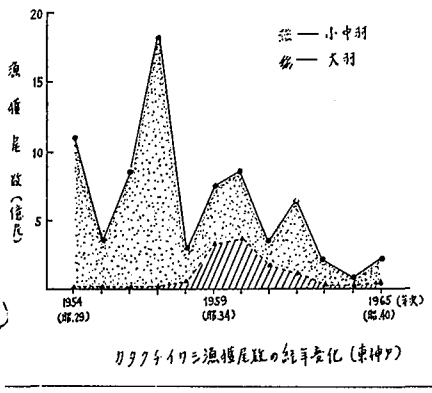
イカナゴ―5月中旬～6月上旬にかけて，播磨灘ではばっち網で 1～3トン/1日1統の漁獲があったが，6月中旬以降は急減を示している。今年のシンコの成長は，5月30日で平均80.7㎜を示し，昨年同期のもの（73.2㎜）より7.5㎜程大型である。これは，昨年はシンコ発生量が多く，かつ水温の上昇がおくれたためであるが，今年は淡路島周辺での発生量と播磨灘西部からの添加群が少なかったためである。したがって，県下の漁獲重量は昨年（約3万トン）の6割程度であるが，漁獲尾数では3割程度と推定される。

カタクチイワシ―今年の産卵期は6月に入って盛期になったと思われるが，特に大阪湾では昭和30年代より産卵期はおくれ気味であり，卵の分布域は南部に偏し，狭い範囲である。これは，最近の親魚群が好漁期より大型化しているが，各年における発生量が少ないために親魚群量もまた減少し，さらに内海における冬から春にかけての水温の上昇が緩慢であることによる播磨灘では内海独自の魚群（量的には少ない）が存在するために大きな変化はない。大阪湾では各年の70～90％が外海から補給される群であるが，当才魚（シラス～中羽）の減少が目立ち年漁獲量のうち，大羽の割合が増加している。このことは漁獲尾数の減少となって現われている（図参照）。今年のシラスの来遊は1旬近くおくれたが昨年より多量と思われ，6～7月には小羽群と大羽群が主対象となる。

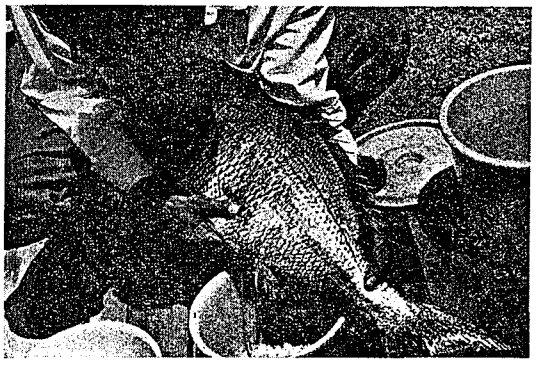
アジ，サバ―太平洋南海域でのマアジ当才群の来遊量は少ないので（南水研情報），7月末までの大阪湾への出現は例年以下と思われる。マアジでは7月中旬頃から淡路沿岸で出現の見込み。一方昨年7月～9月に好漁であったマサバは昨年より減量したものの，今年も5月中は紀南海域に集群しており，淡路南部では6月に入って一本釣で3～5kg／1日1隻程度漁獲されているので，7月上旬前後には大阪湾北部でもやや目立った漁獲が期待される。また豆サバ魚群は6月中旬頃から大阪湾中部附近までかなり多く出現している。

その他―6月の稚仔採集結果では，播磨灘，大阪湾ともに各種稚子での入網が前月より増加している。しかしこの成長群は夏以降の漁獲対象である。キス，ベラなどの出現は昨年程おくれない模様。

（浜　田）



カタクチイワシ漁獲尾数の経年変化（東神戸）



写真説明　Ⅱ　マダイ採卵　メス6キロ11年魚

中性洗剤のあれこれ

―食品、食器の中性洗剤で、魚の酸化脂肪を除く方法とか、その後の水洗いのしかたとかは省略するとして、ここでは、洗剤液を使うことが有害かどうか、あれこれを〃食生活〃から抄してみた―

○　液体と粉末の洗滌力の差はほとんどないがいくらか粉末のほうすがぐれていて粉末を一〇〇とすると、液のほうが九四～九五ぐい

○　粉末のほうが経済的使いやすさでは液体のほうがすぐ。れている。業務用として粉末を使い、家庭用には液体を使いたいところ。

○　使用最高濃度は水に対して〇・二～〇・三％洗滌力が強くて手のあぶらを取ってしまうから、特に乾燥して気温が低いときは、皮膚に亀裂ができ、いわゆる荒れてくるので使用後はきれいな水で洗い、ベルツ水、ハンクドリームなどをつける

○　アレルギー性のつよい人は、ゴム手袋をはめて直接洗剤液がかからぬ様にする。木綿の手袋を先にし、その上にゴム手袋をすると、手の汗は木綿に吸収される。

○　洗剤液の濃度がつよすぎると不経済。場合によっては洗浄力が低下する。

○　外国では洗たく用洗剤で食器を洗い、台所用洗剤がない。

○　日本の場合は厚生省の指示にそって衣類などとは別な洗剤、つまり食品、食器用の洗剤がつくられた。（兵水式魚類人工乾燥協会）抄録

電話変更御案内
7月11日より下記のとおり変更致しますので、何卒よろしくお願い申します。
増設変更 (68) 6954
～6957
既　設 (67) 6685
兵庫県
漁業協同組合連合会

昭和四〇年漁家経済調査結果からみた 漁業の収益状況と生産費の構成

収益状況について

毎年継続して記帳調査にご協力をいただいています漁家のうち、三八年以降で動力漁船五トン未満を所有し、主に小型底びき網漁業を営む県下の漁家一一戸の一戸あたり平均についてみますと、概ねつぎのようなことになります。

まず漁業の収入は、年々上昇の傾向を示しておりまして、四〇年は三八年に比べて大体一三〇%増加しています。この収入にほぼ比例しまして、漁業の生産費もまた増加しています。

このような上昇傾向は、生産物の増加によるよりもむしろ魚価の上昇とか、雇用労賃、資材費等の値上りが強く反映しているとみられます。

四〇年の一戸あたり平均漁業収入は、約一一八万二千円になっていますが、これを一二カ月で割りますと約九万九千円の月給とりということになり比較的かなりの高額であります。

しかしながら、漁業は生産物の収入を得るためには雇用労賃とか油代、漁船漁網漁具代等多額の経費を必要としています。この事例結果では漁業支出は、約五〇万七千円となっており、漁業の所得はこの金額を漁業収入から差引いた約六七万五千円ということになりますから、実質的に収入は大きく下廻ります。

漁業の収入と、漁業の生産費の差である漁業の利潤は、四〇年では三八年に比べて七%程度下廻っていますが、このことは四〇年は見積家族労賃がやや高くなったためです。

漁業の利潤と、見積資本利子（漁業投下資本額は年利九分四厘九毛を乗たもので、もし資本の提供をうけて漁業を営むとすれば、どの位の利子を払わねばならないかというものです）を合算したものは、四〇年は三八年より僅かに伸びています。この漁業純収益を、漁業収入で割った率を漁業収益率とみれば一一%程度であって、三八年と比較し（2表ご覧下さい）では、生産費は一戸あたり、動力三トン未満で八七万八千円、三—五トンで一一九万五千円、五—一〇トンで九一万一千円、小型定置で一三八万六千円になっていますが、この労賃は漁船漁業においては漁船の規模が大きくなるにしたがい増大する傾向がありますが、三トン未満を一〇〇としますと、三—五トンでは約二倍に、五—一〇トンでは約四倍というように倍加がみられます。

生産費のうちで、もっとも大きな部分を占めているのは雇用労賃であります。

雇用および見積家族労賃を合算した総労賃の生産費に対する比重は、三トン未満で四〇年は大きな変動はみられません。

雇用労賃が見積家族労賃に対して、どの位の割合をもってかいるをみますと、三トン未満では一八%程度ですが、三—五トンでは四〇%程度と比重が高くなりまして、五—一〇トンではこれが逆に見積家族労賃の約五倍の雇用経費を投じていることになります。

さらに、漁業純収益を漁業投下資本額で割った率を漁業投下資本利益率としまして、漁業と収益率をやや上廻る傾向をもっています。

見積資本利子というものは、大体に漁業生産費の七—八%程度を示して、漁業利潤よりも大きくなっています。漁家はこのような形をとるのが通常のようであります。

漁業の所得は、漁業の収入から漁業の支出（減価償却をふくめて）を差引いたものでありますが、その内部の構成は、見積家族労賃見積資本利子、企業の利潤の三者からなりたっていまして、この三者を合わせたものが漁業所得ということになります。

では、この三要素の構成は一体どのようになっているかをみますと、1表にも示しましたように、漁業所得の約七〇—八〇%は見積家族労賃ということになり四〇年ではこの労賃が三八年に比べてやや上昇しています。つぎに見積資本利子は一五%程度で、残りが漁業の利潤ということになります。

この利潤は、四〇年では三八年より下廻っており僅かに六%程度にすぎませんが、漁業の所得といいましても、前述のように見積家族労賃の占める比重がかなり高いわけであります。

漁業の所得が上昇傾向にあるとはいえ、漁業利潤は極めて少ないことがわかります。

漁業生産費の構成について

四〇年調査結果についてのの現況をみることにしますまず、漁業生産費といいますのは、漁業支出と減価償却費以外に見積家族労賃見積資本利子を合算したものですが、この生産費を構成している主なものは、雇用労賃とか、燃油費、漁船費、漁網費等それに前述の見積家族労賃、見積資本利子等があります。

県下低位階層漁家の事例満がもっとも高くて六〇%程度を示しています。

燃油費ではどうでしょうか。一番高い比重を占めるのは漁船規模の大きい五—一〇トンで一五%程度、ついで三—五トン、三トン未満の順であり、小型定置では漁法の特殊性を反映して一%あまりと僅少であります。

漁船漁網関係費をみますと、生産費に対して約一〇%前後の比重をもっています。

また、固定資産の減価償却をみますと、生産費に対して小型定置が一一%程度で高く、定置網は小型底びき網等と異なりまして優却資産であることが影響しています。

以上のようなことから生産費を構成する支柱となりますのは、労賃と漁船漁網具関係（減価償却費を含めて）それに燃油費ということがいえます。

この支柱となるべき費用だけで、生産費に対して、三トン未満と三—五トンで八〇%程度、五—一〇トンで八五%程度、小型定置で七五%程度を占めていることになります。

農林省兵庫統計調査事務所
水産統計課

1表　継続漁家の収益事例（1戸当り）　単位：百円

	漁業収入	漁業生産費	漁業純収益	収益率	漁業所得内訳 見積家族労賃	見積資本利子	漁業利潤
38年	8,976	8,572	1,066	11.9%	3,119	662	404
40年	11,818	11,440	1,350	11.4%	5,400	972	378

2表　40年漁業生産費の構成事例（1戸当り）　単位：百円

	漁戸数	雇用労賃	漁船費	施設費	漁網具	油代	餌料氷代等	諸材料	販売手数料等	光熱借賃	減価償却	見積家族労賃	見積資本利子	計
0～3トン	15	852	222	24	597	543	360	80	431	389	4,547	739	8,784
3～5	7	1,790	706	28	1,104	1,152	226	332	553	788	4,217	1,053	11,949
5～10	1	3,651	587		665	1,312	0		349	911	729	906	9,110
小型定置	3	2,324	139	260	765	169	0	199	1,428	1,625	5,235	1,718	13,862

漁業所得 ＝ 漁業所得
漁業収入 － 漁業支出 ＋ 減価償却 ＋ 見積家族労賃 ＋ 見積資本利子 ＋ 漁業利潤
漁業支出
漁業経営費
漁業生産費

或る水産人のつぶやき ④

土井久治

以上三つの養殖計画は、組合単位の協業によることは勿論、近代的設備をモットーとして、事業を推進せば、従来この種の経営が限られた一部の人によって実施されているが、この職域に、漁村が進出するのも、全国嘴矢の事業として殊に漁村の青壮年には、魅力的な事業となるのではないか。本県においては、この種の事業は、既に終戦後着手せられ居るべき性質のもので、これからの実施については、時期的の「ズレ」があるため、容易ではないが、「本県水産百年の計」を想定した場合は、職域外えの進出も又考えざるを得ないのではないかと、思考する次第である。斯くした事業の実現を期す為めには、国、県の主脳部に、これが推進軸となる人材が必要な事は勿論で、当姫路石見元秀市長の如き人は、好適の人と思料する。

次に上記の有害漁種は、内海及び日本海の底曳網漁業を指摘したもので、該漁業は、恐らく本県漁業の主要漁業に属するも、その被害の甚大さは、海の暴者として、昔から有名で、矢張り底曳網漁業には限度があり、久しく、多くの漁船が操業を継続すると、漁場はやがて荒廃する過去の事実からして、本県においては今からその対策を考究検討する必要があるのではないか。この問題は、瀬戸内海臨海各県が、同一歩調をとらねばならぬことは勿論である。本漁業の制限撤廃は、業者にとって、これ程酷なことはなく、事、生死に匹敵する故、少なく共その前後策として、一応有望漁場えの進出計画、即ち私は現在、内海及び日本海側底曳漁船の一部の、沖縄の西表島（石垣島の西）を根拠とした、東支那海と南支那海の中間漁場えの出漁計画（出稼漁業）と、日本海側大型底曳網漁船の、北鮮から沿海州沖合に至る漁場えの早期出漁を、その転換策として、推奨する次第だが、これが実現の為めには、相当の装備が必要視されるが、この件については国、県なりの全面的補助が要請せねばならぬと思う。底曳網漁業が、現状のままで継続される暁には、前述したが、必らず漁場が荒廃して、制限、撤廃する必要がなくなる時代が到来することを予想するとき、今から外海えの出漁計画を樹立して、早急にその実現を見るよう、県当局者の決意を要望する次第である。

現在内海において、普及実施中の栽培漁業海苔、わかめ等の養殖事業も、漸く軌道に乗り、安定した漁村の主要な一部門を形成して居り、将来更に上述した、陸上の集団養殖事業が成功するとせば、有害漁種の底曳網漁業も、外海えの出漁、他種漁業えの転換によって、内海において、その姿を消すようになれば、漁村の経営状態も、大いにその面目を一新して、漁村全体が、協業経営の実を挙げたとえ漁撈全般行為の制限期間を2～3年と設定しても、敢えて生活面に支障を来さないようになれば、数年後における内海の魚族の繁殖率は推して知るべく、ここに始めて、従来の内海漁業が一変して、遊覧船による釣船等意の観光漁業に転換して、私のいう「関西の大きな夢の池」となるのも、あながち夢でもあるまいと思考する。以上論述した保護策としての諸計画に対しては、国や県が思い切って補助金を出して、内海全体の国家的事業として、計画実施すべき性質のものであることを、更めて強調する次第である。

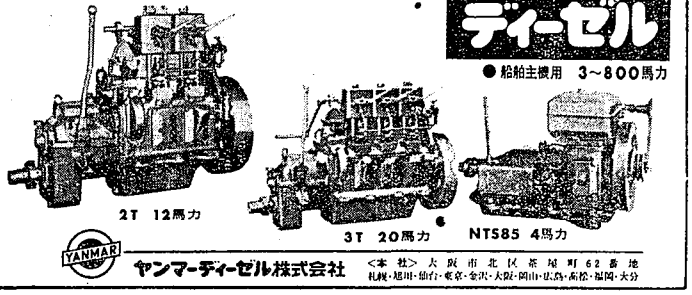
魚類の呼吸について

魚は水中で生きている限り呼吸しているわけである。即ち呼吸器としてもっている鰓（えら）を通して周囲の水から酸素を取入れる。

この酸素を血液が魚体の各部に運んで行きここに生じた二酸化炭素（炭酸ガス）を体外に排出する。従って魚の種類，魚体の大小等によって当然酸素の必要量（消費量）は異なってくる一般的に小型の魚種は大型の魚種よりも体重に対する酸素の消費量の割合は多く、また同じ魚種でも体重の増加にしたがい酸素消費量の割合は減少する。つまり体重が2倍になっても酸素の量は2倍より少くてよい。水中に溶けこんでいる酸素量が増加すると当然魚の呼吸過動はその回数とか大きさも少くてすむし、反対に水中の酸素量が減少すると大きさ、回数とも増加しコイ、ウナギの養魚池などではいわゆる「鼻上げ」と称し、水面に浮上して呼吸するようになってくる。

なお酸素消費量は水温が高い時の方が低い時より当然多くなってくる。実際に魚がどの位の酸素を消費するか一例をあげると実験の結果では次のようになっている。ブリ仔体重43グラムのもので水温が22.5度の時に酸素の消費量は1時間に約 12.5 立方センチメートル となっている。

（菅）

YANMAR DIEBEL ENGINE
● 漁場と市場を直結する！
ヤンマーディーゼル
● 船舶主機用　3～800馬力


YANMAR
ヤンマーディーゼル株式会社
<本社> 大阪市北区茶屋町62番地
札幌・旭川・仙台・東京・金沢・大阪・岡山・広島・高松・福岡・大分

連載

系統運動と漁協の経営 ④

漁村文化協会　宮城雄太郎

ただ一般論として、漁船の一〇～三〇トン型の漁獲収入は一一二であるのに、漁業所得は一〇九と低く、三〇～五〇トン型では漁業収入が一一八であるのに、漁業所得は九八に過ぎないということは、取りもなおさず、多くの経費を掛ける割合に、収益性は低いということを意味するのであります。その理由は労賃部分の費用が昂んできたこと、競争激化の結果、建造費や経常的支出が多くかかること投下資本の大部分を他人資本すなわち借入金に依存する度合が高く、金利負担や償却費が割高であることを示しているのであります。このことは沿岸漁業を含めて、金の掛る漁業経営に転移しつつある今日、漁協の事業経営の上にも、十分な考れ慮わが払わねばならぬことを、示唆するものと思われますが、いずれその点については後に触れるとして、労働力の現状について簡単にみておきたいと存じます。

労働力が年々漁村から流出の度を深めていることはいまさら改めて説明する必要のないことであります。日本経済が発展成長し、他産業の雇傭力が大きくなれば、激しい労働放出にも拘らず、その経営の安定度の低い漁業から、高い所得を約束する産業に労働力が稼動することは、自明のことであります。

漁家の学卒者は三十八年の漁業センサスによると、五万一千七十六人となっておりますが、そのうち三七・四%が進学し、六二・六%の三万一千九百五十一人が、なにかの仕事についたのであります。そのうち漁業に従事したものは、二六%の八千三百人に過ぎません。その漁業就業者と、自分の家の漁業に従事したものと、沖合遠洋漁業等に雇われたものとに区分しますとその割合は、前者が四二五%、後者が五七・五%であって、漁村に残って自分の家の漁業に従事する者、すなわち漁家の後継者は全国で三千五百二十七名でしかないのであります。

さきほど漁業経営体のうち九七%が沿岸漁業だと申しましたが、この九七%の実数である経二十二万の沿岸漁家層の後を継ぐべき若い労働力が、僅か三千五百人であるということは、漁家の将来のために大変なことであります。このような年少労働力の流出傾向は当然のことながら、労働力の質を年々低下しているのであります。すなわち二十八年は、漁業労働の中心は三十才未満にあり、その比率は全体の三九%であったのに、十年後の三十八年には二五・四%と激減し、これに代って三十才から四十才までのところに中心が移り、それ以上の高年令層においてもそれぞれ増加しているのであります。このような労働力の高年令化にたいしては、それに適応した漁業経営の在り方を検討しなければならないでありましょう。若い人が漁村に残るためには、それらの人々が魅力を感じる環境をつくらなければ、この労働力流出の現象を食い止めることは絶対にできません。このことは、家族労働を中心に漁業経営をなす沿岸漁家でも、雇傭労働力に依存する沖合漁業経営者にもいえることであります。なぜならば、若い人の流出先が漁業である場合には、給与条件のよい大資本漁業経営に集中的であるからであります。

（つづく）

助六放談シリーズ (11)

カマボコと生田神社

助川助六

〝カマボコ〟は、魚しょう油と同じ様に、かなり古くからつくられています。

〝梅は岡本、桜は生田、松のよいのが湊川〟と伝唱された生田の杜（もり）に於て、魚肉のすり身を鉾の先で焼いたのが、起源であると伝えられています。

またカマボコが文書の上で見られるのは、永久五年七月二日と言いますから、今から八五〇年ほど前の平安時代には現実につくられていた様です。いわゆる光源氏物語が宣伝された末期には、蒲鉾という文字さえ使われていて、足利の初期である本山時代（五〇〇年前）には、カマボコが〝おいた〟と称されていた様です。これは朝延の官女の呼んだ呼び名であって、すでに板付けカマボコの出現していたことと、高貴の間だけで賞味されていたことが判ります。

たとえば、徳川五代将軍綱吉の天和二年（二八〇年前）のころでも、明石城供宴での監使、斉藤利政には、今の神戸市垂水区神出の〝檔香〟という店からカマボコが配膳され、随員にはハンペンが仕立てられ、仲間小者に対してはタイなどが出されて、カマボコ類は与えられなかったと書き残されています。

また元禄年間には、蒸しカマボコが発明されたというのに、兵庫の港にあるカマボコ屋だけは、依然として焼き板のみを加工していたそうで、それは京都御所への調進品がどうしても淀川を遡ぼらなければならず、長道中の間に品質のかわるのを損れたためであると伝えています。

いずれにしろ、カマボコは、貴族階級のもので、一般の口にはなかなか入らなかったらしいが、天明元年（西紀一七八一）のころになって、ようやく町人階層に滲透しはじめたと言われます。

「カマボコという魚は、板を背負って、海の中を泳いでいたのかえ」という笑い話は、ひょっとしたら、当時の江戸小咄しのタグイであったかも知れません。

今の私たちは、見ることも許されなかった昔とことちがい「骨のない魚」を心ゆくばかり味わうことができるわけで、カマボコみょうりにつきるとでもいおうか、カマボコさまさまであります。

したがって私は、生田神社で開かれる夏の夜を彩る数々の祭行灯を眺めるときなど「カマボコの白さ女のしとやかさ」という山川さんの川柳を思い起しながら、カマボコ縁起建碑の夢を追うのがクセのようになっています。

どこかのカマボコ屋さんが、毎年建碑祭を営んだら恰好の宣伝材料ともなるのいと、この機会に紙面を借りてありがたくお礼を申し上げる次第です。

どこっぱらんえんど

(5) わ

戦後の企業経営の対策は資金をどうやってうまく借りるかということと、税金をいかにして少なく払うかにあったと何かの本で読んだのを記憶しているが、いまやそれにもまして近代的労務管理が経営のウエイトを大きく支配してきたといわれている。

経営内のあらゆる階層によいチームワークを創りだし、職員の主体的協力にもとづいて管理してゆく人だというヒューマン、リレーションズだ。

○

ぼくは生粋与寮我が手にありと、己のパターンに無理にでもはめこもうとし、地位をカサにきていばりちらすことが、自分の尊厳を示す方法だと思いあがっていた先輩が、案にたがわず失敗に終った前例を知っている。

○

だから、ぼくはこの会にきて十一人の同僚に一番先にお願いしたことは、みんな仲良く固いチームワークでもって今後の問題を、みんなで処理してゆく人だというモラルの高揚につとめていただきたいということだ。

○

この会に来るときも、きてからも或る人達はぼくにこういった。

「三代将軍家光の如くたれ」

勿しそんなことは許される時代ではない。

一谷教育長さんから、ヂカにお聞きした「上からものをいうな」ということがまだ新しく胸の中に焼き付いているぼくは、なんでもみんなとよく相談し一人々々の持っているパーソナリティを十分に発揮してもらい、それを組織の目標に結集し一つの大きな力にして事に処したい。

○

それから競馬にこんなのがあるそうな。

はじめダッシュする馬は必ずバテルと

それ故にぼくは初めからあわてない。

他から見ればがゆいだろうが、

二兎を追わず一兎を得るため一つ一つ順を追ってゆくつもりだ。

積み上げ方式でゆくとまぐれでも、いつかはタイムリーヒットが出るだろう。

何はともあれ、ぼくの折りたたみ財布にしずかにねむってござるたった一枚の聖徳太子さんがおっしゃったように

「和をもって貴しとなす」

をモットーにやってゆきたい。

或る暴力団の綱領の一項にも

内を固むるに和親合一を最も尊ぶとある。

一家の幸福も団体の発展も、基礎は和であることを改めて見直したい。（剣）

(思い出の記) (14)

不良局員裁かれる

風来漁人

日向の「新しい村」に帰った無軍大路宛に長い手紙を書くまでに私の決心は強まっていた。待ちかねた返事が来て入村を承諾するから、係の川島伝吉と打ち合わせして来村するようにとあった。私の胸はおどった新しい人生の門出が初まるように思えた。所が好事魔多し私はこの時肺結核二期という重病に侵されている事を知ったのである。

もはや三カ月も前にさかのぼる。電信課長室で「これは君の書いたものぢゃないかね」と鼻先へつきつけられたのは例の大衆新聞で一部には「これが国民の選良だ」と題してハゲ頭の居眠り風景や演壇での大立廻りなどの醜体を中元流に戯画化して書いたものであるもう一部には「或模範局員の死」という幼稚なしかし私にとって力作である所のコント風のものでいずれも片隅の埋め草に出されているのであった。後者は初老の為替係長が一日の決算で百円紙幣一枚の不足を来たしこの弁済に苦しんだ末ノイローゼとなり病気で倒れるという筋である。これは京橋局で実際にあった事なので局としても不祥事件でありこれをどんな形にもせよ洗いざらい公表するような結果になることを極度にきらうのも当然のことである。それにしても庶務課に特高まがいの係員が居て局員の家庭や本人の行状思想傾向などをせんさくして歩いている事は知っていたが、この短文などYHという署名だけなのによくも調べ出したものと驚く。「この新聞がこまるんだ。こんな新聞に寄稿するばかりの官吏として政府や国会をときおろすような事を書くのは嫌に慎しまねばならぬことだ」一本釘をさして「これはどうだ」、はまだ触れも見てさびしからずやうな結果にならぬ程度にきらうのも当然のことである。それにしても庶務課に特高まがいの係員が居て局員の家庭や本人の行状思想傾向などをせんさくして歩いている事は知っていたが、この短文などYHという署名だけなのによくもこんなものをやりとりするのは不謹慎も甚だしい」ことに至って私は青くなったり赤くなったりしながら漸く弁解を試みた。

「これは与謝野晶子の歌です」すると意外にも課長は更にいきり立って

「何、それは若反戦詩を書いて大町桂月から乱臣賊子也ときめつけられた女詩人ぢゃないか。この新聞といい、この詩人といい危険思想の先端を行くものだ。前途有為の君たちは大いに慎しんでもらいたいものだ」課長の目には自らの奉仕する政府と現世の秩序に弓を引くものはアナーキズムもマルキシズムも与謝野晶子もおしなべて危険思想に見えるといった顔付きで受付に備えられた通話券をつき出した。

「やわはだの熱き血潮に触れも見てさびしからずや道を説く君」敏子が例の茶目っ気を出して、だんまり屋の私をからかうつもりで書いて寄越したもので見覚えのあるものだ。私の机からでも見つけてきたらしい「これはまことに穏やかでない。所もあろうに窓口でこんなものをやりとりするのは不謹慎も甚だしい」ことに至って私は青くなったり赤くなったりしながら漸く弁解を試みた。

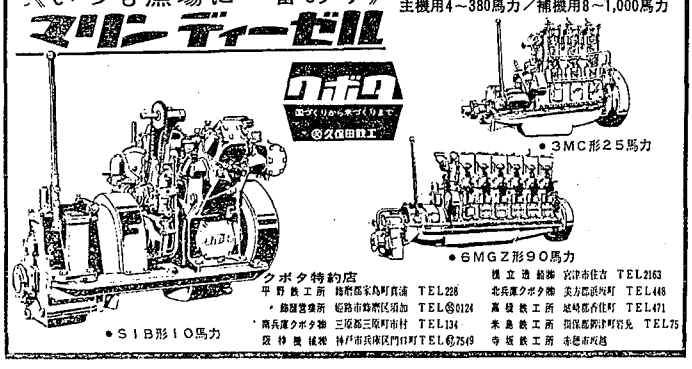
「これは与謝野晶子の歌です」すると意外にも課長は更にいきり立って

「何、それは若反戦詩を書いて大町桂月から乱臣賊子也ときめつけられた女詩人ぢゃないか。この新聞といい、この詩人といい危険思想の先端を行くものだ。前途有為の君たちは大いに慎しんでもらいたいものだ」課長の目には自らの奉仕する政府と現世の秩序に弓を引くものはアナーキズムもマルキシズムも与謝野晶子もおしなべて危険思想に見えるといった顔付きで受付に備えられた通話券をつき出した。

私はこの時あぶら汗を一升ばかり出しただけで済んだが、かねてから勤務ぶりをにらまれていた私は受付係を追われて、最も不健康な仕事といわれている気送管係という所へ配置替えとなった。そして三カ月かって恐れられていた病気が出てきたのであった。

新案特許第756323号
新型・吉岡鍋
元祖
①水を使わない調理法と驚異的な万能性を生かす。
②すべて近代的な調理器具を完全にリードする。
△兵庫県内海漁連指定
△料理講習に出張いたします
△分割払をご利用下さい

吉岡鍋製作株式会社
広島市上幟町9－5 上野ビル
TEL広島(0822)21－5934番

《いつも漁場に一番のり》
〈ディーゼルの総合メーカー・クボタ〉
主機用4～380馬力／補機用8～1,000馬力
マリンディーゼル
クボタ
造ってから使ってから
久保田鉄工


クボタ特約店
平野鉄工所　姫路郡家島町真浦　TEL228
・鉄鋼営業所　姫路市姫路区須加　TEL⑤0124
南兵庫クボタ㈱　三原郡三原町市村　TEL134
阪神機械㈱　神戸市兵庫区門口町TEL⑥7549
横立造船㈱　宍粟市住吉　TEL2163
北兵庫クボタ㈱　美方郡浜坂町　TEL446
高橋鉄工所　延岡郡香住町　TEL471
米島鉄工所　揖保郡御津町岩見　TEL75
寺坂鉄工所　赤穂市坂越